

終末期の緩和ケアは？

岡山県民市民ら理解深める
公開講座



終末期の患者支援について
考えた県民公開講座

の松本陽子理事長、み
とりの現場を取材し
ているフォトジャーナ
リスト國森康弘さんの
講演もあった。

(水嶋佑香)

緩和ケアについて考
える県民公開講座(県、
岡山大学保健学研
究科主催)が3日、岡
山市北区駅元町の岡山
コンベンションセンタ
ーで開かれ、市民ら約
420人が終末期の患
者支援の在り方につい
て理解を深めた。

「苦しむ人は自分の
ことを理解してくれ
る人がいるとうれし
い」と強調し、「患者
から実現不可能なこ
とを求められて無力
感にさいなまれるこ
とがあるが、逃げない
とが一番大切」と話し

た。
竹俊院長が基調講演。
家族や医師ら支援する
側が心掛けるポイント
として、患者が伝えた

サポートおれんじの会

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。